

オーストリア情勢月報

(2025年1月)

1. 主要経済指標
2. 政党支持率
3. 経済情勢
4. 内外政・社会情勢

在オーストリア日本国大使館

(注) 情報の信頼性には注意を払っておりますが、出典の正確性を保証するものではありません。また、営利目的での使用、無断転載はお断りいたします。

1. 主要経済指標

(1) オーストリア

	2023年	2024年												出典 (単位)	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
実質 GDP 成長率	-1.0	-1.5 [0.2]			-1.4 [-0.2]			-0.8 [-0.1]			-0.2 [-0.0] *			1(a,b)	
労働	標準賃金指数	123.9	132.5	132.8	132.9	133.4	134.8	134.9	135.0	135.0	135.0	135.1	135.6	135.7	1(c)
	失業率 (ILO 基準)	5.1	5.0	4.7	5.0	5.0	5.1	5.2	5.2	5.3	5.6	5.6	5.0	5.3	2(a)
消費	小売売上高指数 (自動車除く)	111.2	101.6	102.6	116.9	114.0	112.0	111.2	114.5	111.8	111.2	118.6			1(d)
	自動車売上高指数	110.1	103.4	110.7	123.0	119.5	111.0	117.1	114.8	96.1	109.1	128.6			1(d)
企業	生産指数	104.9	85.1	92.6	108.5	100.8	99.4	105.8	104.2	92.3	106.4	107.3	109.1		1(d)
	製造業景況指数	14.5	-3			-9			-15			-15			3(e)
	破産件数	5,380	1,691			1,607			1,597			1,655			4(f)
国外	貿易収支 (通関ベース)	-20	7.2*	11.8*	5.9*	3.0*	0.0*	4.9*	8.6*	-5.6*	6.1*	-1.0*			2(g)
	輸出	2,008	158*	166*	166*	162*	153*	160*	170*	134*	160*	173*			2(g)
	輸入	2,028	151*	155*	160*	159*	153*	155*	162*	140*	154*	174*			2(g)
	経常収支	63.5	81.1			6.8			14.8						5(g)
	外国人旅行客数	3,091	278	321	280	143	222	268	400	431	254	204	128		2(h)
	日本人旅行客数 ウィーン州の日本人旅行客数	7.7 4.7	0.4 0.3	0.6 0.5	0.8 0.6	0.6 0.4	0.9 0.5	1.1 0.7	1.0 0.6	1.3 0.8	1.2 0.8	0.9 0.6	0.8 0.5		2(h) 6(h)
物価	消費者物価指数 (CPI) 上昇率	7.8	4.5	4.3	4.1	3.5	3.4	3.0	2.9	2.3	1.8	1.8	1.9	2.0	2(a,b)

出典：1. オーストリア経済研究所 (<https://www.wifo.ac.at/>)、2. オーストリア統計局 (<https://www.statistik.at/>)、3. オーストリア産業連盟 (<https://www.iv.at/>)、
4. オーストリア融資保護連盟 (<https://www.ksv.at/KSV/1870/>)、5. オーストリア国立銀行 (<https://www.oenb.at/>)、6. ウィーン観光局 (<https://b2b.wien.info/de>)

(単位)：(a) %、(b) 前年同期比 (括弧内は前期比)、(c) 2016年を100とした値、(d) 2021年を100とした値、(e) 「良いという回答の割合」 - 「悪いという回答の割合」、(f) 件、(g) 億ユーロ、(h) 万人

*暫定値

(2) 中・東欧

(注1) HICP : (欧州) 消費者物価指数
 (注2) 実質 GDP 成長率と HICP 上昇率は前年比
 (注3) 2024 年と 2025 年は予測値

チェコ <https://wiiw.ac.at/czechia-overview-ce-5.html>

	2023 年	2024 年	2025 年
実質 GDP 成長率	-0.1%	1.0%	2.5%
HICP 上昇率	12.0%	2.7%	2.3%
失業率	2.6%	2.8%	2.7%

ポーランド <https://wiiw.ac.at/poland-overview-ce-8.html>

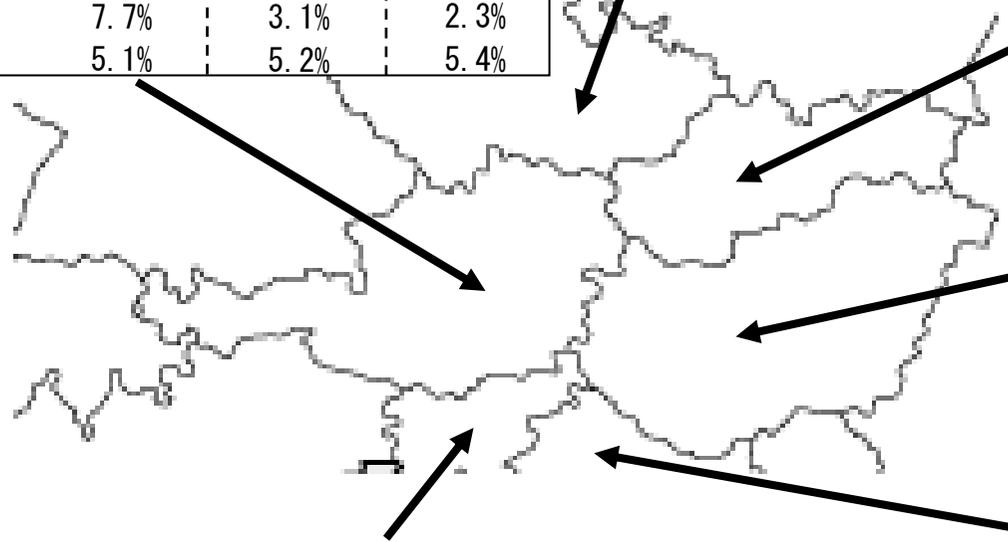
	2023 年	2024 年	2025 年
実質 GDP 成長率	0.1%	2.8%	3.5%
HICP 上昇率	10.9%	3.7%	4.7%
失業率	2.8%	3.0%	3.1%

オーストリア <https://www.wifo.ac.at/daten/wifo-wirtschaftsdaten>

	2023 年	2024 年	2025 年
実質 GDP 成長率	-1.0%	-0.9%	0.6%
HICP 上昇率	7.7%	3.1%	2.3%
失業率	5.1%	5.2%	5.4%

スロバキア <https://wiiw.ac.at/slovakia-overview-ce-12.html>

	2023 年	2024 年	2025 年
実質 GDP 成長率	1.4%	2.0%	2.0%
HICP 上昇率	11.0%	3.2%	3.9%
失業率	5.8%	5.4%	5.5%



ハンガリー <https://wiiw.ac.at/hungary-overview-ce-6.html>

	2023 年	2024 年	2025 年
実質 GDP 成長率	-0.9%	0.5%	2.2%
HICP 上昇率	17.0%	3.7%	4.0%
失業率	4.1%	4.6%	4.5%

クロアチア <https://wiiw.ac.at/croatia-overview-ce-4.html>

	2023 年	2024 年	2025 年
実質 GDP 成長率	3.3%	3.5%	3.1%
HICP 上昇率	8.4%	4.0%	3.0%
失業率	6.1%	5.0%	4.9%

スロベニア <https://wiiw.ac.at/slovenia-overview-ce-13.html>

	2023 年	2024 年	2025 年
実質 GDP 成長率	2.1%	1.9%	2.4%
HICP 上昇率	7.2%	2.0%	2.1%
失業率	3.7%	3.6%	3.6%

2. 政党支持率

(1) 国民議会選挙を仮想した支持政党

	2024 年	2024 年											2025 年
	国民議会選挙得票率	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月
自由党	28.8%	26%	27%	29%	26%	27%	28%	27%	26%	33%	33%	36%	35%
国民党*	26.3%	20%	19%	19%	21%	24%	22%	23%	25%	23%	21%	20%	18%
社民党	21.1%	23%	23%	23%	22%	21%	21%	20%	21%	21%	19%	19%	21%
NEOS	9.1%	10%	9%	9%	12%	9%	11%	12%	12%	10%	11%	10%	12%
緑の党*	8.2%	10%	9%	10%	8%	10%	9%	8%	8%	8%	8%	8%	9%

(2) 首相適任者として支持する政治家（括弧内の数字は前任者）

	2024 年											2025 年
	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月
キクル自由党党首	17%	19%	19%	19%	21%	21%	22%	20%	28%	25%	28%	25%
シャレンベルク暫定首相(国民党)*	(16%)	(14%)	(15%)	(14%)	(15%)	(14%)	(17%)	(19%)	(18%)	(17%)	(15%)	13%
バブラー社民党党首	12%	10%	11%	12%	10%	12%	12%	12%	13%	12%	12%	12%
マイル＝ライジンガーNEOS 党首	6%	6%	6%	6%	8%	6%	9%	8%	9%	9%	8%	10%
コグラ＝緑の党党首*	4%	3%	4%	4%	5%	5%	3%	5%	4%	3%	4%	4%

*与党

出典：エスタライヒ紙 (<https://www.oe24.at/oesterreich/politik/umfragen>)

3. 経済情勢

(1) オーストリア

① 「2024年にオーストリアで過去最高の企業破産件数を記録」

アルペンランド債権者連盟の統計によると、2024年のオーストリアにおける企業破産件数は過去最高となる前年比23%増の6,768件で、負債総額は約195億5,000万ユーロに達し、2万3,000人弱の従業員が影響を受けた。最大の破産は負債総額約18億ユーロのKTM（自動二輪車製造）で、これにシグナグループ（不動産）、フィスカー・オーストリア（電気自動車販売）、キカ・ライナー（家具販売）などが加わる。

◆関連リンク：<https://www.derstandard.at/story/3000000252617/2024-war-rekordpleitenjahr-kreditschuetzer-sehen-vorerst-keine-entspannung>

各紙(13日、14日付)

② 「2024年にオーストリアでハイブリッド車の新規登録が大幅に増加」

オーストリア統計局の発表によると、2024年のオーストリアにおける自家用車新規登録台数は前年比6.1%増の25万3,789台を記録した。この数字は2019年以來の最高値である。内訳はガソリン車が33.1%、ディーゼル車が17.4%で、引き続き、この二つカテゴリーの純粋な内燃機関自動車が合計で半数以上を占めているが、ガソリン車の新規登録台数が前年比8.6%増加したのに対し、ディーゼル車の新規登録台数は同5.2%減少した。他方、ハイブリッド車のシェアは32.0%で、うちガソリンエンジンのハイブリッド車の新規登録台数は前年比25.9%増を記録し、そのシェアを26.3%へと拡大した。これに対し、電気自動車の新規登録台数は前年比6.3%減と低調で、そのシェアは17.6%にとどまった。

◆関連リンク：<https://www.statistik.at/fileadmin/announcement/2025/01/20250114KfzNeuzulassungen2024.pdf>

オーストリア統計局(14日付)

③ 「オーストリアがEUによる過剰財政赤字手続をひとまず回避」

EUは、オーストリアでの国民議会選挙の日程を考慮し、オーストリアへの過剰財政赤字手続を回避するために、1月中旬までに財政計画を提出するよう求める特別措置をとっていたが、1月14日にマイヤー・オーストリア財務相がドンブロウスキス欧州委員と会談し、連立交渉中の自由党と国民党が合意し、EUに提出した財政計画について協議した結果、オーストリアに対する過剰財政赤字手続をひとまず回避する方針を打ち出した。つまり、欧州委は、オーストリアに送付した正式な書簡の中で、オーストリアが提出した財政計画により2025年の財政赤字が収斂基準である対GDP比3%未満に削減されることを確認した。これに基づき、欧州委は欧州理事会に対して、オーストリアに対する手続を実施しないことを勧告する。なお、自由党と国民党は16日、同財政計画の内容を発表しており、同発表によると、オーストリアは2025年に歳出部門を中心に64億ユーロ規模の緊縮財政を実施し、同様の緊縮財政が7年間継続される。

◆関連リンク：<https://www.bmf.gv.at/presse/pressemeldungen/2025/jaenner/oesterreich-wendet-defizitverfahren-ab.html>

オーストリア財務省、各紙(16日、17日付)

④「オーストリアとウィーンの観光が2024年に過去最高の数字を記録」

ウィーン観光局の発表によると、ウィーン州の旅行客数は12月に前年同月比8.2%増の約83万人（旅行客宿泊数は同11.6%増の約200万泊）を記録した。これにより、2024年は旅行客数が前年比10.5%増の約817万人、旅行客宿泊数が同9.3%増の約1,886万泊となり、2019年を上回る過去最高の年となった。2024年の宿泊数の約82%を外国人旅行客が占めるが、とりわけ、米国からの旅行客は前年比17.4%増の約122万泊と好調であった。アジアからの旅行客については、中国人が同78.8%増の約30万泊（旅行客数は同81.5%増の約15万人）、日本人が同44.9%増の約16万泊（旅行客数は同48.8%増の約7万人）と上昇傾向にあるが、それぞれ2019年の43%及び52%にとどまっている。また、ウィーン空港公社の発表によると、ウィーン空港の乗降客数は2024年に過去最高となる前年比7.4%増の約32万人、貨物便発着数は同8.2%増の約1,004万回を記録した。なお、オーストリア統計局の発表によると、2024年のオーストリアの旅行客数は前年比3.3%増の約4,671万人、旅行客宿泊数は同2.1%増の約1億5,429万泊で同じく過去最高を記録した。

◆関連リンク：<https://b2b.wien.info/de/newsroom/corporate-news/bilanz2024-820960>

ウィーン観光局、ウィーン空港公社、オーストリア統計局（17日、22日、31日付）

⑤「ミシュランガイドが16年振りにオーストリア版を発表」

1月21日、ミシュランガイドは2009年以来16年振りにオーストリア版を発表した。これまで、ウィーンとザルツブルクのレストランがシティガイドに掲載されてはいたが、今回からオーストリア全土で評価の高いレストランがセレクトされた。うち、星付きレストランは82軒で、ウィーンのシュタイラーエックが最高峰の三ツ星を与えられた他、セレクトッド・レストランの中にウィーンのSHIKI、UNKAI、MOCHIなどの和食レストランも含まれている。レストランのリストはオンライン上（<https://guide.michelin.com/at/en>）で閲覧することができる。

◆関連リンク：<https://www.austriatourism.com/newsroom/sterneregen-fuer-oesterreich-kulinarische-spitzenleistungen-bei-der-michelin-guide-ceremony-praemiert/>

オーストリア観光局、各紙（21日付）

(2) 中・東欧

①「ロシアがウクライナを經由した西側へのガス供給を停止」

オーストリア政府が確認したところによると、ウクライナを經由したロシア産ガスの西側への供給が2025年1月1日から停止した。ウクライナはロシアとのガス・トランジット契約を延長しないと発表していたが、これが現実のものとなり、同契約が2024年12月31日をもって失効したものである。ただし、オーストリア石油公社(OMV)は既に12月11日にロシア・ガスプロムとのガス供給契約を解除しているため、この供給停止はオーストリアには短期的に大きな変更をもたらさない。オーストリアのロシア産ガスへの依存度は従来から約80%に達していたが、オーストリア政府は、ドイツ及びイタリアを經由したガス供給と国内備蓄によりロシア産ガスを代替することが可能であると発表している。

◆関連リンク：https://www.bmk.gv.at/service/presse/gewessler/2025/0101_gas.html

オーストリア環境省(1日付)

②「ロシアでライフアイゼン銀行インターナショナルに20億ユーロの支払いを命ずる判決」

1月20日、ロシアの裁判所は、ライフアイゼン銀行インターナショナル(RBI)に対して、EUの制裁対象となっているロシアのオリガルヒであるデリパスカ氏に20億ユーロを賠償することを命じる判決を下した。デリパスカ氏は、所有するオーストリア建設大手シュトラバグ社の株式が制裁により凍結されたことを受け、2024年8月に同社及び同社株主に損害賠償を求める訴訟を起こしていたものである。RBIは同社株主ではないが、同社株主であるライフアイゼン銀行ニーダーエスタライヒ・ウィーンの系列会社であるという理由から、ロシアの裁判所により、そのロシア子会社の資産を凍結されていた。RBIは控訴する意向であるが、ひとまず、ロシア子会社に相当額の準備金を計上することを余儀なくされる。なお、ロシア政府は23日に本件について、「ロシアに対して非友好的な行動をとる者は罰せられる」という内容のステートメントを発出した。

◆関連リンク：<https://www.derstandard.at/story/3000000253742/russisches-urteil-zu-strabag-zwingt-rbi-tochter-zu-r252ckstel lung>

各紙(20日、23日付)

③「中・東欧諸国で銀行の自己資本利益率が上昇」

ライフアイゼン・リサーチが発表した研究報告によると、銀行の自己資本利益率は2024年にユーロ圏平均が10%弱なのに対し、中・東欧諸国では15~20%に達しており、今後も成長が見込まれる。同研究報告は、過去数年間に様々な危機が起きた後、中・東欧諸国では西側よりその回復のテンポが速く、同諸国に進出している西側の銀行のビジネスは好調であり、とりわけ、良好な経済指標を背景とする個人消費拡大を通じて融資が増加していることが直接的に銀行の利益に繋がっていると分析している。その際、最も成長が見込まれる市場として、投資環境を改善する政策がとられているポーランドが挙げられており、その逆の傾向を示している顕著な例はハンガリーであると指摘されている。

◆関連リンク：<https://www.diepresse.com/19303019/banken-im-osten-europas-florieren>

各紙(28日付)

4. 内外政・社会情勢

①「ネーハマー首相が辞任」

1月4日、ネーハマー国民党党首（首相）は辞任を表明した。9月の国民議会選挙の結果を受け、第一党となった自由党と連立を希望する政党がない状況下で、10月にファン・デア・ベレン大統領が第二党を率いる同党首に組閣を委任し、以来、社民党及びNEOSと連立交渉を行っていたが、1月3日にNEOSが連立交渉からの離脱を発表した後、4日に社民党との交渉も決裂したことを受けての辞任であった。つまり、国民党が社民党との交渉を打ち切ることを発表した際の辞任発表で、同党首は辞任の理由について、「自由党と連立しないという自身の約束を守る」旨説明した。これを受け、5日にシュトッカー国民党幹事長が国民党暫定党首に就任し、10日にシャレンベルク外相がファン・デア・ベレン大統領から暫定首相に認証された。

◆関連リンク：<https://www.derstandard.at/story/3000000251517/karl-nehammer-verkuendet-seinen-ruecktritt>

各紙(4日、5日、10日付)

②「オーストリア外務省が自由党政権に対する国際的懸念への対応要綱を全てのオーストリア大使に送付」

オーストリア外務省は、キクル自由党党首を首相とする政権が構築され、同政権に対する国際的な懸念が起きることを想定し、在外公館の全てのオーストリア大使に対して、その対応要綱をまとめた回章を送信した。外務省は同回章の柱として、「オーストリアは欧州と世界にとって信頼できるパートナーであり、今後もパートナーであり続ける。このことは現行政府でも次期政府でも変わらない」という内容を掲げた。また、同回章には「オーストリアは今後も国際舞台で精力的かつ建設的に活動する。オーストリアの外交政策の基礎は不変であり、民主主義、法の支配、人権保護という基本原則をその土台とする。オーストリアの国際貢献の基礎は国際法及び国連憲章であり、オーストリアは引き続き例外なく法の支配に基づく国際秩序のために尽力する。このことはロシアのウクライナ侵攻及び中東情勢にも当てはまる」という内容が盛り込まれた。さらに外務省は同回章を通じて、「オーストリアは引き続き、西バルカンへのEU拡大及びイスラエルの安全保障に尽力する」ことを約束し、「EUとその統一市場を明確に支持する」ことを確認した。オーストリアでは国民党、社民党、NEOSによる連立交渉が決裂した後、1月6日にファン・デア・ベレン大統領がキクル自由党党首に組閣を委任し、自由党と国民党の連立交渉が進められている。

◆関連リンク：<https://www.diepresse.com/19242631/aussenamt-versorgt-oesterreichische-botschafter-mit-argumentationshilfen-fuer-fragen-nach-kickl>

プレッセ紙(10日付)

③「ドイツとオーストリアの大学がXの利用を中止」

1月10日、ドイツとオーストリアの大学がソーシャルメディア「X」の利用を中止する共同宣言を発出した。同共同宣言は「右派ポピュリズム的な内容を拡散し、その他の内容の流布を制限する方向性が開かれた世界、学術の不可侵性、透明性、民主主義的な議論という大学の基本的価値にそぐわない」と説明している。このイニシアチブには60以上の大学が参加し、この中にインスブルック大学とインスブルック医科大学が含まれている。ウィーン大学は同様の理由から、既に2024年11月に「X」の利用を中止している。

◆関連リンク：<https://www.derstandard.at/story/3000000252323/mehr-als-60-wissenschaftsorganisationen-verlassen-musk-plattform-x>

各紙 (10 日付)

④「ウィーン州警察本部が舞踏会に対する警備を強化」

1 月 15 日、ウィーン州警察本部は、イスラム国 (IS) がインターネット上でテロを呼びかけ、その標的の中に「ウィーンの舞踏会シーズン」が含まれていることから、ウィーンで実施される舞踏会の警備を強化すると発表した。同警察本部によると、具体的なテロの脅威は確認されていないものの、オーストリアで既に二番目に高いレベルのテロ警告が発出されていることにも鑑み、リスクを最小限にとどめるために対応措置がとられる。

◆関連リンク：<https://www.diepresse.com/19256588/verstaerkte-sicherheitsmassnahmen-bei-wiener-baellen-wegen-terror-aufruf>

ウィーン州警察本部、各紙 (15 日付)

⑤「ブルゲンラント州議会選挙で社民党が過半数割れも第一党を維持」

1 月 19 日にブルゲンラント州議会選挙が実施され、社民党が第一党を維持した。ただし、社民党は前回 2020 年選挙に対して 3.6 ポイント減の 46.4% に得票率を減らし、州議会での過半数を失った。これに対して、自由党は同 13.3 ポイント増の 23.1% (過去最高) に得票率を伸ばし、同 8.6 ポイント減の 22.0% (過去最低) の得票率にとどまった国民党を抜いて第二党へと躍進した。緑の党は同 1.1 ポイント減の 5.7% の得票率。NEOS は同 0.3 ポイント増の 2.1% の得票率となり、議席獲得はならなかった。議席獲得数は全 36 議席中、社民党が 17 (同 2 議席減)、自由党が 9 (同 5 議席増)、国民党が 8 (同 3 議席減)、緑の党が 2 (同変更なし) となった。この結果、単独政権の社民党は安定政権を維持するために連立相手を必要とすることになった。

◆関連リンク：<https://burgenland.orf.at/stories/3289750/>

各紙 (19 日付)

⑥「リンツ市長選挙で社民党のプラマー副市長代行が当選」

2024 年 9 月 2 日付でルーガー・リンツ市長 (社民党) が、2017 年のブルックナー・コンサートホール監督採用に際して不正を行った責任をとり辞任したことを受け、1 月 26 日にリンツ市長選挙の決選投票が実施され、社民党のプラマー副市長代行が 75.6% の得票率を獲得し、24.4% の得票率を獲得した自由党のラムル市参事を抑えて当選した。1 月 12 日に実施された 1 回目の選挙では、プラマー副市長代行は 40.2% の得票率を獲得したが、過半数に達しなかったため、20.2% の得票率で第二位となったラムル市参事との決選投票になっていた。リンツ市長の任期は 6 年であるが、プラマー市長の任期は、補欠選挙であるため、ルーガー元市長のもともとの任期である 2027 年秋までの約 2 年半となる。リンツ市では戦後、常に社民党が市長を擁立している。

◆関連リンク：<https://www.diepresse.com/19295077/spoe-kandidat-prammer-gewinnt-buergermeister-stichwahl-in-linz-klar>

各紙 (26 日付)

⑦「楽友協会が内田光子さんに名誉会員証を授与」

1 月 28 日、ピアニストの内田光子さん (76 歳) がウィーンの楽友協会から、同協会が与える最高栄誉である名誉会員証を授与された。内田さんは、父親が駐オーストリア日本大使に任命され、その家族としてオーストリアに滞在したことを契機にピアニストとしての道を歩み始め、1963 年に楽友協会デビュー

一を果たし、これまでに同協会では約 50 回演奏を行っている。内田さんはウィーン語を流暢に話すのみならず、モーツァルトの旋律を完璧に理解することでも知られている。

◆関連リンク：<https://www.diepresse.com/19305193/uchida-mozart-und-schoenberg-eine-ideale-kombination-im-musikverein>

各紙 (29 日付)

⑧「ニーダーエスタライヒ州が外国人統合強化措置を発表」

1 月 30 日、ニーダーエスタライヒ州政府（国民党と自由党の連立政権）は、「イスラム過激派に対する措置」として、外国人統合強化措置を発表した。同発表によると、その柱は教育部門と公務部門で、教育部門では幼稚園で統合促進のために保護者面談を義務付け、保護者面談を拒否した場合に最高 2,500 ユーロの罰金が科される他、学校と幼稚園で十字架を掲げ、10 歳以下の女性に対してヒジャブを禁止することを推進し、連邦に対してこれらを盛り込んだ法律の制定を要求する。公務部門では、州公務員がブルカ等で頭部全体を覆うことを禁止し、狂信的または過激な宗教活動を行った場合、重大な職務規定違反とみなし、解雇することを可能にする。

◆関連リンク：https://www.noel.gv.at/noel/LH_Mikl-Leitner_und_LH-Stv._Landbauer_praesentieren_Aktio.html

ニーダーエスタライヒ州 (30 日付)

(以 上)